

～今月の花木～



ムラサキハシドイ 紫丁香花

モクセイ科・落葉低木・ヨーロッパ原産

冷涼地を好むが関東でも時折見かける。札幌市の花である。別名ライラック、リラ。



☞一口に植栽管理と言っても、目的に応じた様々な作業がある

植

栽

管

理

春が来て夏が過ぎ、秋になり冬が来る…四季のサイクルの中で身近な植物たちは変化し適応しながら生きています。個人の庭やベランダから大規模な学校や事業所、公園や街路にいたるまで、人が植物を世話(植栽管理)している場所は多く、私たち造園業(植木屋)も多く関わっています。

「植栽管理なんて、やる事決まっているじゃん」と御思いの方、間違いはありません。裏面には年間の植栽管理作業の目安となる表を掲載しており、いつ何をやるかは、大体決まっています。植物の生育や特性に合わせた管理作業を実施すればいいのです。

と云うのは簡単ですが、①志と②段取りと③実行する手当が無くては、出来ません。①は植栽環境の向上や植栽由来のトラブルを減らしたい気持ち、②は実際の作業計画、③は実行するための予算等の確保が必要ですが、範囲が広すぎる、予算が十分に確保出来ないなど思い通りに行かない事も多々あります。

限られた予算等の中で優先順位をつけ植栽管理されている場所は多くありますが、管理対象から漏れ、長年放置された問題がある場所も見られます。

植栽管理でお悩みの事がありましたら、先ずはご相談ください。

樹木管理のリスクマネジメント

折れ枝や枯枝の落下、倒木等による事故は、車や建物などを壊し、時に人命に関わる事もあります。事故や被害を未然に防ぎ軽減するために、出来る事はあります。

折れ枝・枯枝

遅かれ早かれ落下します。特に人通りの多い箇所では見つけ次第早めの剪定(撤去)が必要です。



倒木

強い台風などにより、ある程度の被害が発生することは仕方がなく完全には防げませんが、剪定して風通しの良い樹木は倒れないこともあります。また、根元が腐っている樹木は強風などが無くても突然倒れることがあります。



剪定は樹木の姿形を整えると共に、危険な枝の除去や風圧軽減により倒木のリスク軽減にもつながります。

根元が揺れたケヤキ

見積調査中に偶々根元に縁石押し出しとキノコが見られ、押し出したところ根元が揺れたため、倒木の恐れありと管理者に報告した後、伐採となった様子です。



☞一見、健康そうであるが…



☞根元の縁石押し出しとキノコ



☞伐採後の切株(かなり腐朽していた)

樹木点検と診断

樹上にある折れ枝や枯枝などは、上を向いて歩いて目視で確認します。危険性の高いものは事故防止の観点から剪定等の処置が必要です。

根元や幹からキノコが生えているものは、内部が腐朽している可能性があり、倒木や幹折れのリスク要因はありますが、必ずしもそうなるとは限りません。詳細に調べるには、樹木医等による樹木診断が必要になります。

樹木管理のリスクマネジメントに必要なことは、先ずは興味をもち、観察することから始まります。気になる事は調べるなり聞くなりして、特に事故につながるような事象については早めに対処したいものです。

樹木による事故を未然に防ぐことは、不幸な出来事を減らし、身近なみどりに対する理解を深めるためにも地味ながら大切な事です。



植栽管理年間工程表

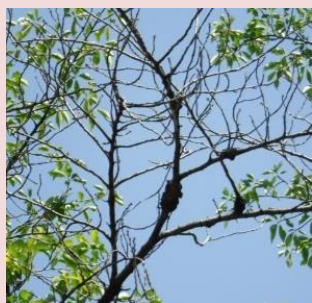
作業時期は一般的な目安です。植栽の種類や目的により変わりますので、詳しくはお問い合わせ下さい。

最適期 ←→ 多少よい時期 ←.....→

作業内容\時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
樹木管理													
常緑樹剪定		常緑樹は新芽が落ち着いてからがよい							常緑樹は寒い時期はよくない				
落葉樹剪定	花木は花芽形成前に剪定		夏期剪定(軽剪定)				落葉前だと落葉清掃が楽/冬期剪定(基本剪定)						
針葉樹剪定	針葉樹は時期によらず強剪定に弱いものが多い												
植込みや生垣刈込		花木は花芽形成前に剪定					花芽形成後の花木は、とびを取る程度に軽く刈込む						
植込み地除草													
施肥	春の芽だし肥や花後のお礼肥(速効性肥料)							寒肥は特に有効(遅効性肥料)					
病害虫防除	チャドクガ(ツバキ類)注意				サクラ、ツバキ類注意			冬季にはマシン油乳剤、石灰硫黄合剤が散布できる					
マツ手入れ		みどり摘み					もみ上げ(古葉落とし)、透かし剪定						
マツ枯れ防止	枯マツは4月までに伐採が特に有効						マツ枯れ予防剤注入は冬期に施工が必須						
芝生管理	※冬に休眠(冬枯れ)する、野芝や高麗芝などの日本芝の場合												
芝刈り		月1回		月2回		月1回(11月で刈り止め)							
除草剤散布						冬雑草発芽前				夏雑草発芽前			
施肥													
手取り除草									冬雑草は目立つので取りやすい				
芝張り(補植含む)													
裸地・そのた管理													
草刈り・除草			年3~4回は行いたい										
落葉はき	新芽が出た後の常緑樹						落葉樹						
樹木点検	枯枝や危険木の早期発見		台風被害の予想点検			台風後の被害点検			大雪後の被害点検				

サクラの枝コブ 増生病

枝の途中に「コブ」があるサクラを時折見かけます。増生病といわれる病気で、コブより先の枝が枯れこむことがあります。コブも一緒に切除する剪定管理が必要です。



チャドクガにご用心

駆除方法：卵や初期幼虫の枝ごと補殺。バーナー等での焼き殺し。薬剤散布。

春先～初夏と夏～秋口に、ツバキやサザンカ、チャなどに発生し、人が触れると皮膚炎になります。

卵・幼虫・抜け殻・死骸・成虫いずれも毒毛があり、駆除の際は直接虫に触れないよう、十分注意が必要です。



卵(左)と孵化したての幼虫(右)



集団でいる初期の幼虫は枝ごと補殺



後期の幼虫は拡散し、補殺は困難